

永年の活動に感謝 平成28年度飯山市青少年育成市民会議会長表彰

飯山市青少年育成市民会議では、青少年の育成に貢献された個人や団体、顕著な善行を行った青少年を表彰しています。

成に永年にわたって尽力された功績をたたえ、共に、受賞された皆さまの今後のさらなる活躍をお祈り申し上げます。



前列左から
足立市長、宮澤純子様、上若連師匠団（湯本一行様、石澤充広様、阿部幸夫様、阿部等様）、佐藤市議会議長です。
後列は推薦団体代表者および市民会議理事の皆さんです。

す。6月10日（金）、市役所で表彰式が行われ、個人1名および1団体に市長から表彰状が贈られました。青少年の健全育

■故 宮澤 章榮 様

平成27年12月の急逝により太田地区公民館長を退任されるまでの6期11年間、山の学習や信越トレイル、信越から踊り大会への取組みをはじめ、市の先駆けともなる通学合宿の実施等、地域全体で子どもを育てるという公民館運営の推進に当たられ、青少年の健全育成に多大な貢献をされました。

■上若連師匠団 様

150年以上続いている信国豊神社の例大祭において、地元の子どもたちに祭りの質を落とさないように獅子舞やお囃子等の指導を20年以上にわたって行っており、故郷への愛着や人間的なつながりの醸成など、青少年の健全育成に多大な貢献をされました。

保育所地域子育て熟開催

長野県保育連盟主催の保育所地域子育て塾が、飯山市では初めて、7月2日文化交流館なちゅらを会場に開催されました。

この催しは保育士一人ひとりの資質向上、地域や家庭の子育て力を高めていくことを目的に毎年行われています。当日は保育環境の第一人者でもある東洋大学准教授高山静子先生を講師に迎え「保育の専門性に基づく環境構成子どもの豊かな遊びと生活を支えるために」との演題の基、県下各地より534名の保育士が参加し、明日からの保育に活かそうと学び合いました。



高山静子先生

募集 保育士（臨時） 給食調理員（臨時）

飯山市教育委員会では、次のとおり臨時職員を募集しています。

- 募集職種 保育士、保育所給食調理員
- 募集人数 若干名
- 応募資格 60歳未満の方で、保育士は保育士資格、調理員は調理師資格を持つ方
- 勤務条件 任用期間、勤務形態等、詳しくは、子ども育成課子育て支援係までお問合せください
- 試験内容 書類審査および面接
- 試験日時 応募者に個別に通知します
- 応募期間および提出書類 9月2日（金）までに、自筆履歴書（写真貼付）を子ども育成課まで提出してください
- 問合せ先 子ども育成課 子育て支援係 ☎62-3111 内線363・364

男女共同参画講演会・いやま女性センター未来文化講演会より

タレントの辻イト子さんを講師に「笑いと明るさで夫婦円満、心にゆとりを！」と題して6月25日に講演会が開催されました。要旨をお知らせします。

■ミカン農家の後継ぎとして生まれて 大阪府岸和田にミカン農家の長女として生まれたが、成人式を迎えてから程なくして母親を亡くし、父親と二人暮らしとなった。年頃になって遠縁の親戚からの紹介で福岡出身の銀行員と出会い、結婚した。結婚して1年後に長女を、4年後には二女を授かった。

■障害のある長女との奮闘 長女の幼いうちには気付かなかつたが、次第に知的障害があることが判明し、学校や社会とのつながりに悩みを持つようになる。「世間という枠の中に入れよう」と、長女のために学校や社会に対して働きかけをするのが「苦勞しているお母さん」と他人からみられているようでいやであった。そんな長女が就職すると、従業員からいじめられ、仕事を行うのを嫌がるようになった。しかし、6〜7カ月経った頃、



休憩時間から漬物をご馳走になったことをきっかけにコミュニケーションを図れるようになり、優しく接してもらえようになった。そして、長女は仕事に生き生きと通えるようになった。

■父親の介護 脳梗塞により右半身マヒとなった父親。リハビリしても回復せず、生きがいも無くしていたが、ある日慣れ親しんだミカン畑へ連れて行く。ミカンがなっている畑の様子を眺めると、「ミカンをもう一度この手で収穫したい」という気持ちで沸き起こり、リハビリに真剣に取り組めるようになり、奇跡的に回復した。そして86歳で亡くなるまでの9年間を生き生きと過ごすことができた。

■45歳からのオーディション バブル景気の絶頂期の頃から不動産業を始めたが、バブル崩壊後、一挙に仕事がなくなり暇な毎日を送っていたが、ある日新聞に「40歳〜65歳、タレント募集」の小さな広告を見つけた。45歳だったので受験することが

できた。ちょうど、時代は中年素人タレントが登場し始めた頃だった。合格を勝ち取り、2年間で30本以上のCMマーシャルに出演を果たした。また、ユニクロのCMでは「オバハン下着編」で賛否両論の大反響となった。その後吉本興業から誘われて、夫と夫婦漫才コンビ「辻イト子・マガル」を結成し、活動の場を広げている。

■人生は一度きり プロダクションには83歳の高齢な方もいた。有馬温泉にビキニで入るといふ仕事にも面白がつて取り組んでくれ、その方は「人生は一度きり。同じ一日、楽しい一日を送りたい。」と前向きに楽しんでおられる。自分自身、みかん農家で静かに人生を終わるものと思っていた。辛いとき、悲しい時に周りばかり気にしていたら何もできない。自分の気持ち一つで、足を前に一歩踏み出すだけで素晴らしい人生が輝くのではないかと今は本当にそう思う。

【参加者の感想より】◇実話に感動しました。日々の生活に元気が出る話でした。（70代男性）◇いくつになっても楽しい人生を歩んでいられとても楽しい講演でした。（60代女性）

「公正な採用選考のために」

飯山公共職業安定所長

高山 守

雇用情勢が堅調に推移する中、来春の新規大学等卒業予定者の採用選考に続き、高校卒業予定者の選考も9月から始まります。

雇用主には、「採用の自由」が認められていますが、応募者の基本的な人権を侵してまでの自由が認められているわけではなく、「就職の機会均等」が実現できるように、「公正採用選考」を行うことが求められます。

ご承知のとおり、憲法22条では基本的な人権の一つとして「職業選択の自由」を全ての国民に保障しています。「職業選択の自由」は、言い換えれば「就職の機会均等」、即ち誰もが自由に適性と能力に応じて職業を選ぶことができるということです。

また、同14条では人権・信条・性別・社会的身分又は門地により政治・経済・社会的関係において差別されないものとしてい

ます。公正な採用選考を行うに当たっては、「人を人としてみる」人間尊重の精神、即ち応募者の基本的人権を尊重することが重要

です。具体的には、応募者に広く門戸を開くこと、本人の持つ適性・能力以外のことを採用条件にしないことですが、毎年、全国のハローワークにおいて把握した「就職差別に繋がるおそれのある事象」は少なくありません。しかしながら、就職差別の有無を確認することは、外部から客観的に断定しにくいことから把握が困難であり、水面下では相当の事象が発生している可能性があります。これを認識せざるを得ない状況です。

労働者を募集する者は、職業安定法と法に基づく指針により、社会的差別に繋がる応募者の個人情報等（本籍や家族状況等）を把握してはならないとされており、個人情報保護法の観点からも、雇用管理に必要な範囲を超えての収集・保管は認められていません。

雇用主の皆様には、就職差別に繋がるおそれのある応募書類の記載事項や面接時の質問事項など、採用選考時に配慮すべき事項に十分ご留意いただき、差別のない公正な採用選考の実施をお願いいたします。